

「健康経営銘柄2026」および 「健康経営優良法人2026～ホワイト500～」に選定・認定

健康経営に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所による「健康経営銘柄2026」に選定されました。同銘柄は、従業員の健康管理を経営的な視点からとらえ、戦略的に取り組む企業を選定するものです。当社は4度目の選



定となります。また、経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人2026～ホワイト500～」にも10年連続で認定されました。(2026.3.9)

同志社大学と包括的な教育・研究連携協力に関する協定を締結

(学)同志社 同志社大学と島津製作所は、両者の創立150周年を機に、包括的な教育・研究連携協力に関する協定を締結しました。産学連携を通じて、大学教育やリカレント教育の充実、サイエンスコミュニケーション分野における人材育成、共同研究の推進を目指し、「サイエンスコミュ

ニケーター養成プログラムの開発・実施」などに取り組みます。(2026.2.24)



国際度量衡局、理化学研究所と 可搬型光周波数標準の役割を探る協力を開始

国際度量衡局 (BIPM) および (国研) 理化学研究所と島津製作所は、光周波数標準 (OFS) に関する調査・検討に向けた覚書に調印しました。将来の「秒」の再定義に向けた可搬型光周波数標準の役割について、共同で検討します。当社は (大) 東京大学の香取秀俊教授らと共同研究し、ストロンチウム光

格子時計「AetherClock OC 020」を2025年3月に発売しています。(2026.5.12)



ガスクロマトグラフ開発70周年 「Nexis GC-2060」を発売

世界最高クラスの感度を持つ検出器を搭載した最上位機種「Nexis GC-2060」を発売しました。分析支援機能やメンテナンス時間の短縮などにより、分析効率の向上に貢献します。当社は1956年に日本で初めてガスクロマトグラフ

を開発し、今年70周年を迎えました。(2026.3.17)



ガスクロマトグラフ「Nexis GC-2060」

分析計測機器6種類のカプセルトイ 「手のひら分析ラボ」を監修

分析計測機器を実物の20分の1サイズでミニチュア化したカプセルトイ「手のひら分析ラボ」を監修しました。製造・販売は (株) ターリン・インターナショナルが担当し、液体クロマトグラフや質量分析計など全6種をラインアップしています。本プロジェクト

は、分析計測機器をより身近に感じていただくことを目指したものです。(2026.5.8)



カプセルトイ「手のひら分析ラボ」
※読者プレゼントあり。冊子裏表紙をご覧ください。

テニスチーム「SHIMADZU Breakers」^{こもかた} 蒔方里菜選手が 国際的に活躍

テニスチーム「SHIMADZU Breakers」の蒔方選手は、オーストラリアで開催された「2026 AO Deaf & Hard of Hearing (DHoH) Championships (全豪オープン)」で優勝し、シングルス3連覇、ダブルス2連覇を達成しました。さらに、フランスで開催された「世界デフテニスチーム選手権大会」では、日本代表チームのエースとして全対戦に出場し、優勝に貢献し

ました。また、「東京2025デフリンピック」での活躍により「三重県民栄誉賞」を受賞しました。(2026.2.3 / 3.27 / 7.16)



※NEWS & TOPICSでは法人名・団体名を以下のように省略しています。株式会社…(株)、国立大学法人…(大)、学校法人…(学)、公益財団法人…(公財)、一般社団法人…(一社)、相互会社…(相)、国立研究開発法人…(国研)
※記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。※所属・役職は取材当時のものです。

＜読者の皆さまの声＞

◆ 夏川草介さんの『神様のカルテ』シリーズの大ファンで、作品を通して医療や人生について考えさせられています。記事をきっかけに、また作品を読み返したくなりました。◆ 診療放射線技師に関する特集を読みたいです。◆ 医療と他業種のつながりが興味深く、視野が広がりました。働き方に対する考え方を見直すきっかけにもなりました。◆ 「CDAS-1000」のように、劣化を促進させて評価するという装置は、ありそうで無かった発想で面白いと感じました。◆ 医療を支える分析化学機器の重要性や、高い精度を追求して進化を止めない取り組みがよく伝わってきました。◆ 技術の背景にある試行錯誤や工夫が丁寧に紹介されており、ものづくりの奥深さを感じました。次号も楽しみにしています。

＜編集部より＞

今年の夏も暑いですね。夏休みに海や山へ行かれた方も多いと思います。私は山登りが好きですが、初めて山に登ったのは幼稚園の頃でした。園の裏にある山を、先生に連れられてクラスみんなで登りました。100メートルほど登った山頂からの眺めは素晴らしく、私たちが住む町を見下ろしながら先生が「あたたかい山が、ひえいざん。そのとなりが、だいもんじやま」と遠くの山並みを指して教えてくれました。みんなで登ったその山には言い伝えがあります。平安時代、宇多天皇が暑い夏に「雪景色が見たい」と言ったことで、白い絹を山全体に覆いかぶせて雪山に擬した風景を楽しんだという、きぬかけの故事です。目で見て涼を得る。あまりの無茶振りとそのスケールに驚きますが、蒸し暑い夏に雪景色を見た京の人たちは、エコな涼しさを感じたことでしょうか。(T)